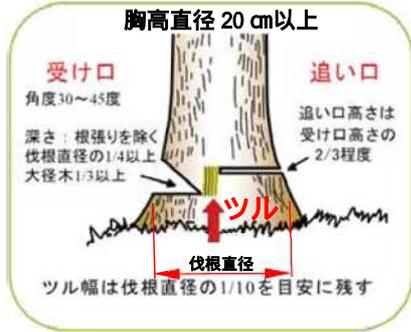


死亡災害等速報

“ 労災による死亡者を、悲しみをゼロに ”

長野労働局

<p>災害発生月</p>	<p>令和4年9月</p>
<p>事業の種類</p>	<p>林業</p>
<p>災害の概要 (注1)</p>	<p>チェーンソーを用いて、偏心した広葉樹(胸高及び伐根直径約40cm、樹高約25m、樹種:ナラ)を伐倒していたところ、追い口切りの途中で幹が縦に裂け上がり、裂けた樹木が被災者に激突した。</p> <p>本件災害の目撃者はおらず、同僚が伐倒木付近で倒れている被災者を発見し、救急搬送先の病院で死亡が確認された。</p> 
<p>再発防止・類似災害防止のためのポイント (注2)</p>	<p>胸高直径(地上約1.2mの高さにおける平均直径)が20cm以上の立木を伐倒するときは伐根直径の1/4以上の深さの受け口を作り、かつ、適当の深さの追い口と、適当な幅の「切り残し(ツル)」を作ること。(右図参照)</p> <p>偏心木等により、裂け上がりが懸念される場合は、ロープ等を追い口の上部に巻きつける等、裂け止め防止のための措置を講じること。</p> <div data-bbox="432 1249 906 1585" style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p>幹の「裂け上がり」の主な原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け口の深さが浅い ・ 追い口の低さが低い ・ 偏心木の場合で、重心方向(傾いている方向)への伐倒 ・ 受け口会合線()の不一致 () 受け口の下切りと斜め切りの終わりの線 (右図参照) </div>   <p>図 2.13 受け口切りの不一致による影響</p>  <p>図 2.14 裂け上りの可能性が低い追い口の高さ</p> <p>「伐木等の業務に係る特別教育」を含め、労働者に必要な安全衛生教育を行うこと。</p> <p>(関係指針・ガイドライン・通達等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伐木作業等の安全対策の規制が変わります！ ～ 伐木作業等を行うすべての業種が対象～ (https://www.mhlw.go.jp/content/000524013.pdf) ● チェーンソーを用いた伐木作業の安全マニュアル 令和4年度改訂版 (https://www.f-realize.co.jp/batsur04/)  

注1) 本速報時点までの所轄労働基準監督署による調査をもとに、長野労働局が作成・推定したものであり、今後、調査が進む過程で新たな事実が判明すること等がある。イラストはイメージ。

注2) 同種災害防止のため、関係する指針・ガイドライン・通達をはじめ、一般的な再発防止対策等を示したもの。発生した災害の責任を問うために示すものではなく、また、必ずしも本件災害自体に対応したものととは限らない。